

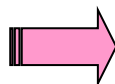
津市の教育振興ビジョン

「夢や希望を持ち、国際社会に生きる自立した人づくり」

基本目標

- ①「夢や希望を持ち続け、生き抜いていく力を育む人づくり」
- ②「地域に根ざした教育の充実」
- ③「自分らしく心豊かに輝けるまちづくりに向けて」

地域・保護者の願い



橋南中学校区のめざす教育

橋南中学校の教育目標

主体的に学び合い、心豊かにたくましく、仲間とともに高まる生徒の育成
「橋南中でよかった。」 We love Kyonan ～Be happy～

《めざす学校像》

- ・主体的に学びあう学校
- ・明るく規律のある学校
- ・生徒の笑顔が輝く学校
- ・人権を大切にする学校
- ・地域と協働する学校
- ・学習環境が整備された学校

《めざす教職員像》

- ・生徒と共に成長する向上心に満ちた教職員
- ・授業力向上に努める教職員
- ・生きる力を育む教職員
- ・人権感覚を常に磨く教職員
- ・信頼に応える教職員
- ・危機管理のできる教職員

《めざす生徒像》

- ・主体的に学びあう生徒
- ・自分も他人も大切にする生徒
- ・心身が健康でたくましい生徒
- ・自分の学校が大好きになる生徒
- ・どんな差別も許さない生徒
- ・世界で活躍できる生徒

現状と課題

生徒は概ね落ち着いており、明るい雰囲気で学校生活を送っている。学校行事等に熱心に取り組む生徒が多く、部活動でも目標に向かって熱心に努力を重ねている。基礎学力や活用力の向上、特に家庭学習の定着には課題があり、ここ数年、授業改善を学校経営の柱に据え、学びのスーパーバイザーからの助言と指導を受け、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けての取り組みを進めている。また、不登校生徒や精神的に不安定になる生徒が多くいることから、うめもとこどもクリニックの医師の指導のもと、保護者や関係機関と連携した生徒支援に積極的に取り組んでいる。また、規則正しい生活リズムの定着、SNSによるトラブルの未然防止などの課題克服のため、今後も保護者との連携を密に図っていく必要がある。

基本方針

地域から愛される橋南中学校づくりを推進します。 ～橋南でよかった！と思える学校に～

☐ 橋南中で学べてよかった（生徒）

生徒一人ひとりの学びを豊かにすることを目指して！

☐ 橋南中で子どもに教育を受けさせてよかった（保護者）

保護者との連携を大切にし、保護者との協働で子どもたちを成長させよう！

☐ 橋南中が地域にあってよかった（地域）

地域との連携と協働を大切に地域から愛される学校にしよう！

☐ 橋南中に勤めてよかった（教職員）

教職員個々の強みと組織力を活かし、互いに学び合い、支え合える教職員になろう！

重点目標

◎「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けた授業改善の推進

- ☐ 主体的・対話的で深い学びの充実と学びに向かう力の育成
- ☐ タブレット PC の活用力の育成と情報モラルの徹底
- ☐ 家庭学習の定着

◎生徒指導・生徒支援の充実

- ☐ 特別支援教育の充実
- ☐ 対話を重視した生徒理解
- ☐ 組織的、計画的な生徒指導および生徒支援
- ☐ 関係機関との連携による生徒支援

◎人権・同和教育および道徳教育の推進

- ☐ 人権を大切にした教育の推進
- ☐ 個々の生徒が輝く教育実践
- ☐ 生き方を見つめ、行動につながる人権学習

◎健康・安全・防災・食教育の推進

- ☐ 養護教諭、学校栄養補助員、学級担任、教科担任の連携による健康教育・安全教育・食教育の充実
- ☐ 地域と協働した防災教育の推進
- ☐ 体力の向上

◎教職員の指導力向上

- ☐ 校内研修の充実
- ☐ 外部人材の積極的な活用による授業力の向上
- ☐ 学校運営への参画意識の高揚

◎地域とともにある学校づくりの推進

- ☐ 地域・保護者との連携・協働
- ☐ 学校運営協議会の活性化を図り、地域との協働による学校経営をめざします。

◎働き方改革

- ☐ 職員の意識改革と諸会議のスリム化
- ☐ 部活動休養日の設定
- ☐ 定時退校日の設定（TT 及び STT の取り組み）

具体的な行動計画

○「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けた授業改善の推進

- ☐ 研修部代表を授業改善推進リーダーとして、全校体制で「主体的・対話的な学び」の充実に向けた授業改善を推進する。
- ☐ 学期に 1 回（年間 3 回）、公開授業研究会を開催する。他校へも案内を送付し研修の充実を図る。
- ☐ 津市教育委員会指導主事、授業改善アドバイザー、外部講師からの助言指導を受ける
- ☐ GIGA スクール推進担当をリーダーとしてタブレット PC の効果的な活用についての研究を深め実践する。
- ☐ テスト週間等の学習会に教育アシスタントを活用し、きめ細かな支援に努めます。
- ☐ 「橋南スタディタイム」を定着させ、家庭学習の一層の充実を図ります。
- ☐ 習熟度別少人数授業等を取り入れ、個に応じたきめ細かい指導に努めます。

○ 生徒指導及び生徒支援の充実

- ☐ 特別支援委員会を定期的に開催し、特別支援コーディネーターを中心に全校体制で特別支援教育の充実を図る
- ☐ 生徒指導委員会を毎週及び随時開催し、情報の共有を図り迅速な対応をします。
- ☐ 個の特性に応じた適切な支援と指導についての研修を深め実践につなげます。
- ☐ 課題を一人で抱え込まずチームで対応する。
- ☐ 不登校対応については、引き続き、アセスメントシートの取り組みを継続し、教育支援センター等の関係機関、保護者との連携と協力を強化していく
- ☐ 教育相談や日頃からの対話による生徒理解に努めるとともに、関係機関と積極的に連携し、個に応じた支援をチームで行います。

□いじめゼロ、SNS によるトラブルの未然防止を目指し保護者との連携に努めます。

○ **人権・同和教育、道徳教育の推進**

- 人権推進委員会で各学年の取り組みを事前共有し、実践につなげる
- 津市教育委員会人権教育課との連携を十分に図る。
- 小中一貫人権部会と連携し、カリキュラムの検討を行い、計画に基づいた実践を行う
- 校区小学校・聾学校との連携を大切にし、人権課題を見据えた人権教育の充実をはかる
- 道徳教育推進教師がリーダーシップを発揮し、「議論する道徳」の充実に向け実践を深める
- フリー授業参観を活用し、道徳の授業を保護者へも積極的に公開します。
- 外部人材の積極的な支援体制を図ります。

○ **健康・安全・防災・食教育の推進**

- 養護教諭、学校栄養補助員・外部人材と連携した授業実践に取り組みます。
- 交通安全教室、自転車点検などを計画的に実施します。
- 地域と連携した防災・避難訓練を計画的に実施します。
- 授業・部活動を通じて生徒の健康・体力向上に努めます。

○ **教職員の指導力向上**

- 外部から講師を招き授業力の向上を図ります。
- 若手教職員の育成に努めます。
- 学校組織の中心的な役割を若手教員に担わせ、組織力を活かしたOJTによる人材育成に努めます。

○ **地域とともにある学校づくりの推進**

- 学校運営協議会の活性化を図り、地域との連携をより強化した学校経営に努めます。
- 令和7年度は昨年度、立ち上がった地域学校地域協働本部のさらなる充実を進めます。
- 地域の関係団体（橋南OYAJIの会、橋南スポーツクラブ、校区自治会、橋南地域青少年を守る市民会議、民生・児童委員等）との連携をすすめます。
- 各学期1回以上のフリー参観の実施と情報発信に努めます
- 学校だより、学年通信・学級通信やホームページの充実を図ります。

○ **働き方改革**

- 総勤務時間の縮減に取り組み、心身が健康で仕事にやりがいと誇りを持つ「チーム橋南」の教職員集団として、組織力を活かした指導をめざします。
- 20時、21時過ぎまで学校に残っていることを当たり前にしない職場環境づくりと教職員の意識改革に努める。
- 定刻退校日の設定および会議時間の短縮をめざします。

- ・年360時間を超える時間外労働者数0人をめざします。
- ・月45時間を超える時間外労働者延べ人数0人をめざします。
- ・定期テスト期間に計画年休を取得し、前年度比+5日をめざします。
- ・また、定期テスト最終日は授業及び部活動を休止し、働き方改革を実践します。
- ・設定した日の定時に退校できた職員の割合80%以上をめざします。
- ・放課後に開催して60分以内で終わる会議の割合100%をめざします。
(月…1年生、火…2年生、木…3年生とし、16:45に終わります)
- ・部活動休養日を設定し達成できた部活動の割合100%
- ・月に2回定時退校日を設定します。
(第2水曜日…定時退校、第4水曜日…スーパー定時退校日)

学校評価の要素	: 生徒・保護者・教職員のアンケート、各行事後のアンケート、QU検査等の結果 各分掌の総括（成果と課題、次年度への提言）
評価に係わる組織	: 橋南中学校学校運営協議会